

第9回振興会議で議論していただきたいこと

- ・答申書内に振興会議からの「提言」として取りまとめたいと考えています。
- ・「提言」には、具体的な事業案は掲載しませんが、事業案から整理された支援の方向性や考え方について盛り込みたいと考えていますので、以下の点について御議論いただきたいと考えております。

※議論の結果、整理された事業案については、その事業案を基に制度設計の上、予算要求していきたいと考えております。

1 事業案の集計結果（資料1）から、事業化する分野と事業内容について

①事業分野を決める。

- ・提出された事業案を集約し、類似する分野ごとに区分しましたので、各テーマ（②若者に魅力にある…、④魅力ある小樽産品…）の支援を進めて行く上で、どの分野（“就業支援”等）を事業化すべきか、について御議論の上、整理していただきたいと考えております。（事業化すべき分野については提言に盛り込みたいと考えています。）

※「その他」については、産業港湾部として対応できない部分もあるため、「その他」以外でお願いします。

※多くの事業案を提出していただきましたが、すべての事業案を実施することは難しいため、資料の「補足」に既存の取組などを記載しておりますが、既存の取組の見直しについては、今後検討する際の参考にさせていただきたいと考えております。

②決定した事業分野の事業名から取り組むべきと考える事業及び盛り込むべき内容を整理する。

- ・事業化すべき分野が決まりましたら、事務局において、提出された事業案を可能な限り統合するなどにより、予算化を目指す事業案に集約したいため、事業案に盛り込むべき内容（この事業とこの事業を統合できないか、この事業のこういう部分を盛り込めないかなど。）について御意見をいただきたいと考えております。

取り組むべき視点	
②若者に魅力のある環境づくりや地元定着、生産性向上による人手不足への対応	人手不足は、少子高齢化による生産年齢人口の減少など我が国の構造的な問題などが要因で深刻化しており、AI、IoT、ビッグデータの活用などにより、労働生産性を向上させる必要がある。
④魅力ある小樽産品の開発と国内外への販路開拓・拡大	経済・社会構造の変化のひとつである「デジタル化」や新たな販売チャネルなど、販路拡大や海外展開の可能性を高める取組を検討する必要がある。

2 答申書に盛り込むべき内容について

- ・仮案では、提言を3項目記載しています。項目及び内容について確認してください。また、追加すべき項目、内容がありましたら、御指摘ください。
- ・会議の中で人口対策についての御意見をいただきましたので、答申書仮案4ページ中段「（1）最新技術を活用するなど人手不足に対応した施策を講じること」に記載しましたので表現内容について御意見をいただきたいと考えております。